

## ◎令和6年 東大和市消防出初式

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

新春にあたり東大和市消防団の出初式が、挙行されました。

本年度も式典前に消防車両のパレードがあり、その後東大和市 Rond 桜が丘フィールドにて、表彰や消防演技が披露されました。出初式の最初には、1日に発生した能登半島地震の犠牲者に対し黙とうがささげられ、式後の祝賀会は中止されています。

又、東大和市消防団第七分団では、本年も昨今の状況を考慮し出初式式典は行わず、受付のみとされました。当防災協議会ははじめ、お世話になっている近隣自治会・管理組合や商店街の方々が、ご挨拶に伺いました。



### ★大和市消防団 消防出初式(パレードに続き、式典9:50~12:15)

(番号はP11の「式次第」に従って)

1. パレード
2. 入場行進



第1分団



第2分団



第3分団



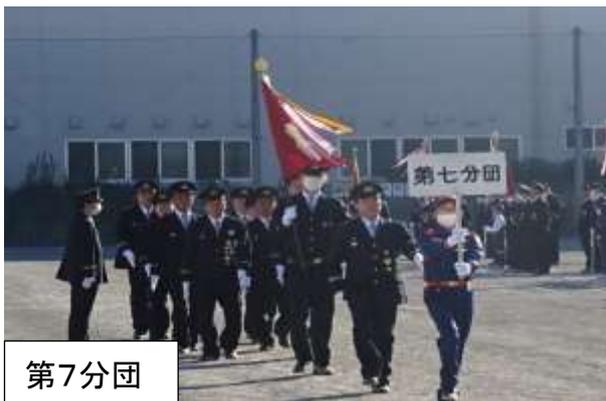
第4分団



第5分団



第6分団



第7分団

### 3. 整列



4. 開式の辞  
(尾崎副団長)



5. 国旗掲揚



6. 団旗奉迎  
(目黒副団長)



7. 人員及び機械器具の報告



8. 市長式辞  
(和地市長)



9. 団長訓示  
(並木団長)



10. 市議会議員挨拶  
(東口市議会議員)



11. 消防署長挨拶  
(田中北多摩西部消防署長)



12. 表彰

(1)東京都三多摩消防団連絡協議会長表彰(第七分団)



(2)東京消防庁北多摩西部消防署長表彰

①優良表彰(第一分団、第五分団)



②応急救護指導活動功労表彰(関田第三分団長)



(3)東大和市長表彰

①特別功労表彰(尾崎本部副団長)



②功績表彰

③竿頭綬表彰(第三分団)



④永年勤続表彰 25年(目黒本部副団長)



(4)東大和市消防団長表彰

①永年勤続表彰 20年(菟田第五分団団員)



②永年勤続表彰 15年(関田第三分団分団長)

③永年勤続表彰 10年

④精勤表彰

⑤退団者感謝状

13. 観閲



14. 消防演技に伴う隊形移動

15. 車両分列行進

本部



やまとなでしこ



第1分団



第2分団



第3分団



第4分団



第5分団



第6分団



第7分団



特別消火中隊



第1分団



災害時三隊  
①災害時ポンプ隊

第2分団



第3分団



第4分団



第5分団



第6分団



第7分団





災害時三隊  
②機動二輪隊

災害時三隊  
③特別活動隊



16. 消防演技(一斉放水)



放水準備



消防少年団

17. 整列



18. 来賓祝辞

19. 団旗送還



20. 国旗降納



21. 閉式の辞(目黒副団長)

式 次 第	
(1) パレード	尾崎副団長 指揮
(2) 入場行進	野口副団長 指揮
(3) 整 列	野口副団長 指揮
(4) 開式の辞	尾崎副団長
(5) 国旗掲揚	野口副団長 指揮
(6) 団旗奉迎	目黒副団長
(7) 人員及び機械器具の報告	並木団長、他
(8) 市長式辞	和地市長
(9) 団長訓示	並木団長
(10) 市議会議長挨拶	東口市議会議長
(11) 消防署長挨拶	田中北多摩西部消防署長
(12) 表 彰	表彰代表者等
(13) 観 閲	
(14) 消防演技に伴う隊形移動	野口副団長 指揮
(15) 車両分列行進	尾崎副団長 指揮
(16) 消防演技 (一斉放水)	目黒副団長 指揮
(17) 整 列	野口副団長・尾崎副団長 指揮
(18) 来賓祝辞	
(19) 団旗送還	目黒副団長
(20) 国旗降納	野口副団長 指揮
(21) 閉式の辞	目黒副団長

※雨天時は一部変更します。

## ★東大和市消防団 第七分団

### 1. 受付(出初式式典は中止)



### 2. 第七分団では次の方々が、表彰されています。

#### (1)東京都三多摩消防団連絡協議会長表彰

①優良表彰： 第七分団

#### (2)東大和市消防団長表彰

①永年勤続表彰 10年： 大森分団長

②精勤表彰： 上岡団員、寶田団員

③退団者感謝状： 福土部長

## 東大和市消防団の現況

東大和市消防団は、本部（正・副団長）を中心に、7個分団（第一分団13名、第二分団16名、第三分団13名、第四分団14名、第五分団12名、第六分団17名、第七分団15名）及び女性部（「やまとなでしこ」）7名で組織し、現在111名の消防団員で活動しています。

機械装備の配備状況は、本部指揮車1台、広報車1台、各分団に消防ポンプ車1台、計9台の車両が配置されています。

さらに、山林火災や大規模災害に備え、より機動力を発揮するため可搬式ポンプ及び発電機が全分団に配備されています。

こうした現有装備を有効に活用し、市民の生命・財産を守るため、日夜訓練を実施しています。

また、防災活動として、従来からの警戒活動などの他、自治会や地域防災組織で行われる防災訓練で、初期消火訓練、AEDを使用した応急救護訓練の指導を数多く行い、市民の災害対応能力のレベルアップに努めています。

東大和市消防団では、大規模災害時における消防団のあり方について検討を行い、平成20年4月に『災害時ポンプ隊・機動二輪隊・特別活動隊』の災害時三隊を発足させました。

### 《災害時三隊の特徴》

#### ①災害時ポンプ隊

同時多発的に発生した火災に対応するため、配備されている資機材を最大限活用することを目的に発足しました。各分団のポンプ車で対応しきれない場合に団員所有の貨物車等に必要な資機材を積載し、第二ポンプ隊として活動します。

#### ②機動二輪隊

大震災の発生に伴い、建物の倒壊、道路の損壊等により、市内の被害状況の把握が困難な場合に、機動力に優れた二輪車を活用して情報収集することを目的として発足しました。団員所有の二輪車2台1組で受持区域の情報を収集します。

#### ③特別活動隊

大震災の発生に伴い、多くの建物が倒壊し、下敷きになっている要救助者がある場合に、団員個々の特殊技能や団員所有の資機材（重機等）を活用して、一人でも多くの人命を救助することを目的に発足しました。消防団本部は、被害状況により有資格者及び資機材（重機等）を選定、招集し、担当副団長を総指揮者として活動します。

### <構成>

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	総数
団員数	1	3	7	7	15	15	63	111

令和6年  
東大和市消防出初式



と き・令和6年1月7日（日）

午前9時50分開式

ところ・東大和市 Rond桜が丘フィールド

以上